

地元の農産物のおいしさ実感

～小学生の豆腐作り教室～

女性部みなみ支部田舎館班（中山静子班長）は、地元農産物のおいしさを子どもたちに知ってもらおう活動を行っている。

2月上旬、部会員が講師となり、田舎館村立田舎館小学校の1年・2年生を対象に豆腐作り教室を開いた。児童らは、大豆から豆腐ができるまでの過程を楽しみながら学び、作った豆腐を食し、おいしさを確認した。

豆腐作りを体験した児童らは「大変な作業もあったけど、美味しいお豆腐ができた」「お豆腐は苦手だけど、今日食べたお豆腐は美味しかった」と話した。



豆腐作りを体験する児童ら

高品質なんにくのための計画確認

～ときわにんにく部会通常総会～

ときわにんにく部会（古川正衛部会長）は1月31日、常盤基幹支店で平成30年度通常総会を開き、生産者ら約50人が出席した。

黒にんにくなどの健康志向による需要高や販売単価が安定していることから昨年に引き続き、作付面積を前年より1畝増の80畝としたことや新規会員加入により部会員数が139人に増えたことを報告。栽培講習会や視察研修を予定した平成31年度事業計画（案）など全4議案を可決した。また、2月6日には組織会が開かれ、部会長に對馬伸吾さんが選任された。



事業計画などを確認した総会

高齢者等地域見守り

～全共連青森県本部が活動支援車両5台寄贈～

JA全共連青森では、県と締結している「高齢者等地域見守りに関する協定」の活動に呼応し、県内のJAに高齢者等地域見守り活動支援車両を寄贈した。

平成30年11月28日、本店で寄贈式が開かれ、小山主悦青森県本部長から目録を受け取った。田中究明信用担当

専任常務は「支援車両の寄贈は大変ありがたい。地域の安全のために有効に活用する」と話した。

また、1月23日は活動支援車両5台が納車され、JA管内に居住する高齢者らが、安心して生活できる環境づくりに貢献していく。



納車された高齢者等地域見守り活動支援車両